第 7 回町田市文化芸術のまちづくり計画策定懇談会 議事概要

日 時	2025年5月26日(月) 14時00分～15時30分
場 所	町田市庁舎5階 5-4会議室
出席者	<p>【委員】(敬称略)</p> <p>山口 有次(桜美林大学ビジネスマネジメント学群教授)</p> <p>長尾 洋子(和光大学表現学部総合文化学科教授)</p> <p>藤枝 由美子(玉川大学芸術学部アート・デザイン学科教授)</p> <p>宗田 隆由(一般財団法人町田市文化・国際交流財団)</p> <p>佐藤 正志(町田商工会議所)</p> <p>高野 宗佳(一般社団法人町田市文化協会)</p> <p>高梨 光之(一般社団法人町田市観光コンベンション協会)</p> <p>大山 茂登(木曾中学校長)</p> <p>百田 明弘(相原小学校校長)</p> <p>(以上9名)</p> <p>欠席: 高橋 倫正(町田市郷土芸能協会)</p> <p>【事務局】</p> <p>文化振興課 山田課長、山岸、牧野、齋藤、池内</p> <p>株式会社文化科学研究所(コンサル) 山名、安田、菊谷(オンライン参加)</p> <p>【傍聴人】</p> <p>なし</p>
議事内容	<p>1 前回の振り返り</p> <p>(1) 第6回懇談会の振り返り</p> <p>(2) 計画策定スケジュールについて</p> <p>2 計画素案の検討</p> <p>(1) (仮称) 町田市文化芸術のまちづくり計画の素案について</p>
配布資料	<p>資料 00_レジュメ_町田市文化芸術のまちづくり計画策定懇談会</p> <p>資料 01_資料 1_第6回懇談会議事概要 1212</p> <p>資料 02_資料 2_(仮称) 町田市文化芸術のまちづくり計画策定スケジュール</p> <p>資料 03_資料 3-1_【2024年度未作成】町田市文化芸術のまちづくり計画骨子</p> <p>資料 04_資料 3-2_町田市文化芸術のまちづくり計画(素案)</p> <p>資料 05_資料 3-3(仮称) 文化芸術のまちづくり計画策定に係る全体像</p>

開会

○事務局(山田課長)

本日は、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

今年度は改めて、皆様に委員の委嘱をする年度で、机上に委嘱書をご用意しております。引き続き、どうぞよろしくお願いたします。今年度最初の懇談会でもありますので、委員の皆さまから、一言ずつご挨拶をいただければと思います。

<委員自己紹介>

委員委嘱

○事務局(山田課長)

次に、委員長選出に移りたいと思います。委員長は委員の互選により定めることとなっております。

事務局としましては、これまで委員長を務めていただいた山口委員を推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。

<異議なし、各委員の承認>

○事務局（山田課長）

また、委員長を補佐し、委員長が欠席された際などにその職務を代理する副委員長につきましても、同様に、これまで副委員長を務めていただいた、長尾委員を推薦したいと思いますが、いかがでしょうか。

<異議なし、各委員の承認>

○事務局（山田課長）

ありがとうございます。

さて、本日、第7回懇談会では、昨年度末に作成した骨子に肉付けを行い、素案という形でお示しをしておりますので、委員の皆さまからご意見をいただければと思います。それでは、ここからの進行は、山口委員長に委ねたいと思います。山口委員長、よろしくお願いいたします。

○山口委員長

改めまして、委員長を務めます山口です。よろしくお願いいたします。

それでは、次第に従って、議題ごとに事務局説明の後、委員から質問や意見を伺う形で進めたいと思います。

それでは、「1 前回の振り返り」について、事務局からの説明をお願いします。

1 前回の振り返り

(1) 第6回懇談会の振り返り

(資料 01_資料 1_第6回懇談会議事概要 1212) について事務局から説明

○山口委員長

以上についてご意見・ご質問ありますでしょうか。

<ご意見>

なし

(2) 計画策定スケジュールについて

○山口委員長

では次に計画策定スケジュールについて、事務局から資料の説明をお願いします。

(資料 02_資料 2_ (仮称) 町田市文化芸術のまちづくり計画策定スケジュール) について事務局から説明

○山口委員長

以上についてご意見・ご質問ありますでしょうか。

○宗田委員

懇談会は12月が最後という説明でしたが、委嘱書上は3月31日までとなっているのはなぜでしょうか。

○事務局

最後の懇談会は12月を予定しておりますが、委嘱期間としては、今年度中ということをお願いさせていただいております。

2 計画素案の検討

(1) (仮称) 町田市文化芸術のまちづくり計画の素案について

(資料 03_資料 3-1_【2024 年度末作成】町田市文化芸術のまちづくり計画骨子

資料 04_資料 3-2_町田市文化芸術のまちづくり計画 (素案)

資料 05_資料 3-3 (仮称) 文化芸術のまちづくり計画策定に係る全体像)

以上3つの資料を事務局から説明

○山口委員長

以上についてご意見・ご質問ありますでしょうか。

<質疑>

○宗田委員

計画に記載のある事業については、庁内検討会等で話し合われていると思いますが、進行状況はいかがでしょうか。おそらく各部署で予算化していくものと思われませんが、各課における本気度とどうか、熟度はどの程度ですか？

もう1つ、基本方針にある指標は、アンケート調査や市民意識調査で取る内容かと思いますが、この計画のために数値を取るのか、あるいは、町田市市民意識調査(企画政策課が実施する市全体の調査)に調査項目を追加して盛り込んでいくか、どのように行うのでしょうか？

進行状況の確認にあたっては、分かりやすい指標となるよう工夫してもらいたいです。

○事務局

1点目につきましては、庁内検討委員会でも話し合っています。今年度が町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」の次の実行計画である、町田市5ヵ年計画の策定年度であり、2027年度から2031年度に向けて、市としての重点事業のエントリーを行う年です。全庁的には事業費を削る方向にあり、新しい事業に予算を捻出することがなかなか難しい状況であることも踏まえ、庁内検討委員会の委員からも複数の既存事業を組み合わせる新しいものを作っていったらどうかといった意見がありました。今まで通りのやり方だけでなく、産業と福祉を掛け合わせる等、5ヵ年計画の重点事業へのエントリーに向けて熟度をもう少し高めていきたいと考えているところです。

2点目の指標について、企画政策課で行っている町田市市民意識調査は、毎年同じ項目でアンケ

ートをとる必要があり、項目の追加ができないものとなっています。したがって、振り返りのタイミングで、たとえば5年ごと等に予算をとり、文化振興課としてこの計画の振り返りのために、アンケート調査が実施できればと考えています。

○宗田委員

文化とは目に見えないもので、評価することが難しいものだと思います。活動する側も、見る側も身近に感じられるようなことを具体的に打ち出していかないと、この計画を作って終わってしまうと思いますので、分かりやすく実感できるようなものを作っていただきたいと思います。

○事務局

計画はなかなか読まれないものであると思っています。なるべく平易な文言で書き、絵本で概要版を作る等、身近なものとして感じてもらえるよう作っていきたいと考えております。

○藤枝委員

27ページ以降の記載について、指標の目標値というのは、いずれここで定められるものでしょうか。ここではなく話し合う場が設けられるのでしょうか。

○事務局

事務局で設定のうえ、庁内検討委員会と懇談会の場でご提示し、検討いただく機会を設けたいと考えております。

○山口委員長

いわゆるKPIのようなものを置きたいというのは行政の視点としてわかります。ただし、それぞれの取り組みごとにつながりがあるのかどうかは疑問ではあります。設定するならば、そのつながりを説明することが必要であると考えますし、つながらないのであれば、プロジェクトの進捗管理こそが大事であると考えていますので、その点を鑑みて検討を進めていただきたいと思います。

○高梨委員

計画の期間について、前・後期5年ずつではなく、6年と4年としているのは、5ヵ年計画に未来づくりビジョンと合わせているという理解で良いのでしょうか。また、27ページ以降のところは、この計画の位置づけとして実行計画、いわゆるアクションプラン的な立ち位置のものでしょうか。加えて、掲載している個別の事業についてですが、私たち観光コンベンション協会が事務局として携わっている時代祭りについては、実行委員長とお話する中で、パークミュージアム（(仮称)国際工芸美術館）の進捗を考えると、開催できない期間が生まれてしまうということも考えています。

さらに、施策1にはNEWの表記で、新しい取り組みの記載がありますが、他の基本方針のところにもそれぞれ新しい事業を打ち出していくのでしょうか。今後どのように進めていくのか確認させていただきます。

○事務局

1点目の計画の期間については、お見込みの通り5ヵ年計画に合わせています。次の5ヵ年計画が2027年度から2031年度を予定していますので、前期の終期と合わせています。

2点目につきましては、実行計画、アクションプランのような立ち位置として捉えておりますが、今後、実際にその事業が継続できるのか？というところも含めて考えると、取り組み内容につ

いては記載方法を迷っているところです。本日の資料では、記載されている事業の粒度がまだ揃っておらず、もう少し大きな括りで捉え直しても良いのかなとも悩んでおりますが、現状はアクションプランのようなものとして検討を進めているところです。

最後、3点目の基本方針それぞれに新しい事業を打ち出していくのかというご意見につきましては、ここに掲載している事業は文化振興課のみで行っている事業だけではありません。他分野・他部署同士の連携が実現可能なかを調整し、書きぶりを検討のうえ、新しい事業が載せられれば、載せていきたいと考えております。

○宗田委員

34ページの「水曜日の音楽会」については、財団が和光大学ポプリホール鶴川で行っている事業ですが、条例上の正式な施設名称を書いていた方が良いかもしれません。掲載いただくのはうれしいのですが、現在100回を超えて、少し見直す時期に来ているので、書き方についてはご相談いただきたいです。

また指標について、10年後の指標を置いています、いまの10年は何が起こるか一層わからなくなっています。例えば、やり方として5年間等、途中で見直していくという方法もあるのではないのでしょうか。

○山口委員長

指標については、おっしゃる通り、10年後にその数値はなんだったのか、どういう意味だったのかという議論になってしまうことがあります。あるいはその書きぶりに縛られてしまうということもあり、個人的には現実的ではないかなと思うところがあります。多くのところでは数値管理が図られていますが、あえてそれを出さないということも1つの手であると考えますので、進め方を検討いただきたいと思います。

○長尾委員

そうするとプロジェクトの進捗管理というか、達成度や成果を測る際には指標が要らないということになるのでしょうか。

○山口委員長

プロジェクトの達成度を測るにあたって、完成年度を100%としてそれに対して何%くらい達成できたかというのを測る見方もありますし、個別のプロジェクトごとに設定するという方法もあります。今のKPIの考え方は、プロジェクトと直結していない、あまり関係のない指標を設定すると、何が効いたのか検証できなくなってしまう曖昧なところがある。

○長尾委員

ということは、プロジェクトの進捗状況とその関連性からこの計画の成否とまではいかないまでも、達成度を把握できるような材料が揃うというのが理想的であるということですか。

○山口委員長

そうです。

○山口委員長

17ページで現状、意識調査・アンケート、みなさんの想いというところで色分けされているのが分かりやすいと思います。8ページや16ページについては色分けされていないので、色分けされているとより分かりやすく伝わりやすいと考えます。

また、11ページには、個別に期待することの記載がありますが、全部に共通して期待することとして「連携してください」というものもあると思います。それが表記されていると良いと思います。

さらに10ページの(3)文化芸術の範囲について、観光などの毛色の違ったものも文化芸術の1つであると言葉で表現できていると理想的であると思います。

○山口委員長

佐藤委員、ご意見いかがでしょうか。

○佐藤委員

結構です。

○山口委員長

高野委員、ご意見いかがでしょうか。

○高野委員

私の立場から申し上げますと、この計画のどこにご協力できるかというところを考えておりました。

○山口委員長

大山委員はいかがでしょうか。

○大山委員

学校という立場でどこに関わっているのかを考える中で、38ページ目で小・中学校の体験学習等と記載していただいております、学校として関わりがあるのは、改めてこういうところだなと思いました。何らかの形で子どもたちのことをしっかり入れてもらいたいと感じます。子どもたち発信というのは難しく、まず子どもたちに「機会を与えてもらう」ということが強調されて分かりやすいと良いと思います。

○山口委員長

コンセプト、目指す姿で「スタート」というところが強調されているので、特にその辺りをいろいろなところで記載されていると良いということですね。

○山口委員長

では、百田委員はいかがでしょうか。

○百田委員

私も同じ様に子どもたちがどう関わってくるかを考えていました。学校での体験学習は、学校に通っている中の延長線にあるものだと思っています。それ以外の色んなイベントであったり、開かれたものだったりに関しては、「誰もが楽しめる」ということが大切であると思います。家庭によるものでもありますが、地域によってアクセス面の差が出てしまうということはありません。

良いなと思い、どこにいても同じように文化芸術が楽しめるの良いなと感じます。

○長尾委員

教育機関としての大学という視点で申し上げたいのですが、11ページの(7)に教育機関としての高等学校・大学についての記載があります。この欄だけ「連携」という文言が入っていないようですが、近年大学では地域との連携に注力しており、積極的にそれを活用いただくべく「連携」という文言を入れていただくと良いと感じました。

さらに、「専門知識」と記載がありますが、文化芸術においては「知識」だけでなく、「実作」や「実技」というものもあると考えており、「技術」の側面もあります。「専門性の提供」という風に文言を変えていただくとそういうものを含めることができ、小中学校との連携の幅も広がるのではないかと思います。

また、42ページに記載がある「大学や企業とのパートナーシップ協定」は、すでに結んでいるところもあると思いますが、現状ではパートナーシップ協定によってどのように文化芸術が推進されているのかについて、見えるようにはなっていないように感じています。現状の分かりにくい状況を、計画の中で広く見えるような形に、活かされているというのが分かるように、記載されていると良いと思います。

○山口委員長

11ページに記載されている個々の機関での連携もあれば、その枠を超えた連携もあるというのがこの中に表現されていると良いというご意見ですね。例えば、大学だけをとっても連携している先は大学と小中学校、大学と観光など、記載されているような大学と企業だけではないということですね。

○長尾委員

はい、そういったイメージです。ゼロとかマイナスからスタートするものではないので、そういった現状をもう少し強調した書き方とするのが良いかなと思います。

○藤枝委員

細かいところではありますが、20ページの方角性4について、いままでは（これまでの資料では）課題としていたものを方角性として初めて記載していると思いますが、文化財の中に「美術品」は含まれており、意味合いが重複しているように思いますが、あえてという理解でよいでしょうか。

さらに、11ページ目の(7)で、連携して、協力していくということは、盛り上げていくうえでカギになる場所であると思いますが、これをどういう風にフォーカス、説明していくのかというのは難しいところなんだろうなと思いました。

○事務局

本来は「文化財」の中に「美術品」が内包するというのですが、現状の市の強みと言えることとして、他市を圧倒する量・質の美術品コレクションを所蔵していることもありますので、「美術品」をあえて書き分けているところでもあります。

○山口委員

14ページや15ページについて、これが全てではなく「あくまでもこういったものが挙げられ

る」というような1文を加えると良いと感じました。また、15ページについては、2017年からにした理由について、説明を少し追記した方が良いと感じます。

○宗田委員

基本方針の指標について、3つずつくらい記載がありますが、これは固定なのでしょう。それとも例なのでしょう。

○事務局

現時点では例として書いているものです。

○宗田委員

例えば基本方針1のSNSのフォロワー数という指標については、10年前のフォロワー数を考えてみるとそもそも存在しなかったり、今の方が、数がずっと多かったりするの、こうしたものは工夫して変えると良いと思います。

○山口委員長

町田市内に住む方、文化芸術に携わっている方としては、この計画は市民にどのように取られると感じますか？

○宗田委員

町田駅周辺の中心市街地が、文化芸術の中心であるように示すのではなくて、〇（まる）ごと大作戦のように、市内各地でそのプロジェクトが行われていて、市内各地で行われていることが実感できるようなことあると良いなと思います。

○藤枝委員

24ページ、25ページのまちだSmile-ring project（スマイリングプロジェクト）について、プロジェクトBに関して、2031年までに1回実現すればよいというニュアンスに感じられます。町田市がそういうところに力を入れているということ表現するには、毎年は難しくても、ビエンナーレやトリエンナーレのように、2年ごと、3年ごとのように最初に何年ごとに行うということ宣言することで、「町田が何か変わったのかも」と印象付けることができるのではないかと思います。

○事務局

何年に1回と言うようにできるかは分からないところではありますが、強みに記載があるポップミュージック等、音楽系のところで仕掛けていけると良いなと思っています。

○宗田委員

プロジェクトBについて、野津田公園で行う大型イベント等を考えているのでしょうか？

○事務局

はい、そのようなことができると思います。

○宗田委員

大型イベントというと、来年やろうと思ったらできるわけではなく、何年もかけて計画するものであると思います。例えば幸田町で行われている市民ミュージカルであるとか、数年かけて練習したりする期間が必要になります。時間がかかるイベントと、時間がかからないイベントとあると思

いますが、そうした時間的なところも十分に検討すると良いと考えます。

○山口委員

28ページの以降の具体的な内容についてはこれから考えて行かれるとのことで、全体的な意見については以上とし、計画をブラッシュアップしていただきたいと思います。

最後に、次第5「その他」について、事務局からお願いします。

5 その他

- ・ 次回（第8回）の懇談会スケジュールについて
- ・ 経営会議等内部手続きのスケジュールについて

○事務局

次回懇談会のスケジュールと庁内手続きに係るスケジュールについてです。

次回の開催に向けては、第8回目となる庁内検討委員会を経て、第8回懇談会を開催いたします。今回同様に、素案をブラッシュアップしていきたいと思っております。次回懇談会の日程につきましては、7月上旬の開催を考えております。改めてメール等にて日程を伺いますので、よろしく願いいたします。

なお、内部的なスケジュールとしましては、第8回懇談会が終わったあと、8月中旬に庁内で開催する経営会議に諮り、素案の内容について承認を得る予定です。その後、9月の町田市議会定例会において、行政報告として議会へ報告を行うなどして、進めていきたいと考えております。

また、毎回恐縮ですが、ホームページ公開のため6月中旬頃に本日の議事録をお送りしますのでご確認をお願いいたします。

○事務局（山田課長）

本日はありがとうございました。

それでは皆さま、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。以上で第7回懇談会を終了します。

以上